

技術者・科学者の倫理

2 単位 (必修)

Engineering Ethics

井村 隆信・非常勤講師/テクノメイトコープ, 三崎 幸二・非常勤講師/株式会社 日本環境認証機構 関西認証部

【授業目的】技術者としての意識と誇りを身につけ、工学倫理を守るために必要な知識と知恵を学ぶ。

【授業概要】技術者に要求される倫理とは何か?比較研究と事例研究を中心に学ぶ。その上で、安全、環境、法規、知的財産権などに関連して、具体的にどのようなことが問題になるのか?実践的にどのように対処すればよいか?講師たちの技術者としての実体験をもとに、出来るだけ双方向的な授業をこころみる。工学倫理というむずかしそうなテーマにやさしく迫る。

【キーワード】安全、責任、リスク

【先行科目】『安全工学』(1.0)

【履修上の注意】各クラス2人の講師が、それぞれ2日(15時間)ずつ計4日(30時間)の授業を行う。全時間の出席を要する。授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。全員が教科書をもっていることを前提に授業(レポート、宿題、小テストを含む)を行う。

【到達目標】

1. 工学倫理についての理解
2. 技術者としての誇りと責任感
3. 関連問題についての理解
4. 実践的対応力

【授業計画】

1. はじめに
2. 比較論のこころみ
3. 事例研究 1(グループ討議と発表)
4. 事例研究 2(レポートと小テスト)
5. 技術者倫理と技術倫理
6. 安全と工学倫理
7. 環境・資源問題と工学倫理
8. リスク評価と技術者
9. 事例研究 3(レポートと発表・討議)
10. 技術者と法規
11. 製造物責任
12. 知的財産権と工学倫理
13. 事例研究 4(レポートと発表・討議)

14. 国際工学倫理

15. 実践的技術者倫理

【成績評価基準】プレゼンテーション評価 50%, レポート・小テスト 50%

【学習目標との関連】本学科学習・教育目標 (A: ◎) に対応する。

【教科書】

- ◇ 『技術者による実践的工学倫理 第2版—先人の知恵と戦いから学ぶ—』中村収三, (社)近畿化学工業会 工学倫理研究会 編著 (発行所 化学同人)「2009年9月20日改訂 第2版」
- ◇ 全員が教科書をもっていることを前提に授業(レポート、宿題、小テストを含む)を行う。

【参考書】適宜紹介する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215776>

【連絡先】

⇒ 教務委員会委員